

「仕事と病気を両立するには・・・」 ～職場復帰のために私達がすべきこと 事例をあげて解説します～

主催 (一社) 大田労働基準協会 (幹事)・(一社) 品川労働基準協会
渋谷労働基準協会・(一社) 三田労働基準協会・(一社) 新宿労働基準協会

従業員の健康管理に配慮し、安全で健康に働ける職場づくりをしていくために、働き方改革の一環として、時間外労働時間数には制限が設けられました。しかしながら、長時間労働による「脳血管疾患及び虚血性心疾患等（脳・心臓疾患）」やストレス等による「精神障害」などの労災申請件数が年々増加しています。何らかの病気をもちながらも、仕事を続けたいと思う従業員に、事業所としてどのような支援をしていったらよいかなど、その分野に精通する専門家が、事例をあげて、具体的にわかりやすく解説します。

- 1、日 時 2022年11月25日(金) 14:30～16:30 (受付時間 14:15～)
- 2、会 場 社会医療法人財団仁医会牧田総合病院 くすのきホール
大田区西蒲田 8-20-1 (裏面案内図参照)



3、内 容

第1部 「職員が脳卒中で倒れたら・・・」

脳卒中は働き盛りの方にも起こり、命が助かって後遺症が残ることが多い病気です。後遺症は麻痺などの身体的なものだけでなく、目に見えない高次脳機能障害などもあります。まずは脳卒中にならないことが大切、しかし不幸にも脳卒中になってしまったら、後遺症を負った従業員が仕事を復帰するために、職場はどうすればよいのでしょうか。事例を上げて解説します。

→講 師 牧田総合病院理事長 荒井好範先生 (脳神経外科専門医 認知症学会専門医)

第2部 「労働者の安全と健康を確保するポイント」

高齢労働者は、豊富な経験を有し貴重な労働力である一方で、加齢による身体機能の低下から労働災害に被災する割合も増加する傾向にあります。少子高齢化が進み労働力人口が減少している現在、厚生労働省が策定したエイジフレンドリーガイドラインを理解し、高齢者が活躍できる環境づくりが求められています。高齢労働者の労働災害の状況、ガイドライン理解促進のための解説を交えながら分かりやすく説明します。

→講 師 (一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会顧問 後藤 博俊 氏

4、定 員 100 名

5、会 費 無料

6、申込方法等

- ① 受講申込：裏面「申込書」により大田労働基準協会あて Fax 03-3738-0128 して下さい。
- ② 申込受付：受講可能な場合は受講番号を記入のうえ「受講票」として申込担当者に Fax 返信いたします。
- ③ 受講者は、Fax された受講票を当日持参し受付にご提出下さい。

7、問合先 (一社) 大田労働基準協会 電話：03-3738-0118 FAX：03-3738-0128

申込受付欄	受付日		受講番号	
-------	-----	--	------	--

「仕事と病気を両立するには・・・」

～職場復帰のために私達がすべきこと 事例をあげて解説します～

Fax 申込書 兼 受講票

● 実施日： 2022年11月25日(金) ●

14:30～16:30 開場・受付 14:15～

□申込 Fax. 送付先 (一社)大田労働基準協会事務局 あて
Fax. 03-3738-0128

いずれか、○をお付け下さい	<ul style="list-style-type: none"> ・大田会員 ・品川会員 ・三田会員 ・渋谷会員 ・新宿会員 ・その他の会員
事業所名	
所在地	〒
電話	Fax (返信用)
申込担当者 職・氏名	
受講者 ^{フリガナ} 氏名	

注：① 個人情報とは本講習会以外の目的に利用することはありません。

② Fax 返信された本票を受講票として当日持参し、受付にご提出下さい。

③ 2名以上申し込みの場合は、この用紙をコピーしてご利用下さい。

講習内容に関する質問事項等が有りましたら申込時にご記下さい。	
--------------------------------	--

会場案内図

社会医療法人財団仁医会
牧田総合病院 A棟1階 くすのきホール
(大田区西蒲田 8-20-1)

※院内とは別のホール専用出入口

最寄駅

JR 京急東北線・東急池上線
東急多摩川線 「蒲田駅南口」
徒歩 4分

東京実業高校側
からお入りください

